INFORMATION & OTHERS

ゼッケンの色と数字に注目 ゼロナンバーも応援してね！

4月8〜9日の開幕戦以来となる、今季2度目の全日本。ただし今大会は全く内容が違います。開幕戦も日曜だけ観戦に来たという方は少なくないと思うんですが、本来なら練習走行や予選が行われる土曜日、今回は何もありません。日曜日のみの1DAY開催。しかも通常公認や承認クラスとして行われるIB OpenやレディースIA1、キッズやチャイルドクラスもありません。国内トップカテゴリーのIAクラスのみの開催です。しかも今回レースフォーマットも特別。15分+1周×3ヒートのトリプルヒートのようでそうじゃない。レース時間は第1、第2ヒートが20分+1周。第3ヒートは15分プラス1周で、しかもIA1とIA2が混走で競い合います。

地元全日本ライダー 古川 貴力が教える

HSR九州はココを見ろ！

皆さんこんにちは佐賀の古川貴です。今回のHSR九州ですが、スタートのロングストレートと高速1コーナーは従来通り。ただし、その先奥から折り返したところからまるで違ったリッキーなジャンプが出来て、ここを上手くクリアしないと次のテーブルジャンプへのスピードが乗らないので、ここがまず最初の勝負所になると思います。その先の連続ジャンプはライダーごとにタイミングが変わるのでリズムの速い人に注目してみてください。ジャンプやコーナーそれぞれで450との差が出ると思うんですが、2500クラスにはサンドセクションも大きな課題になりそう。それと最終ストレートに新設されたビッグテーブルトップは、250だとアクセル全開でアプローチしてギリギリ飛べる距離。全長30mは、間違いなく全日本のコースでは最大の飛距離になると思います。モトクロス最大の魅力である空中戦が楽しめると思います。いつもわかない湿激になったHSR九州。見応えあるバトルが繰り広げられるハズ。IAならではのハイレベルなバトルをぜひ堪能してください。

迫力、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルをまずは楽しんでくださいね。

最初は間近で見れるド迫力を感じてもらえればいいと思うんです。様々なモータースポーツ競技の中で、予選レースからの横一線のスタートは、モトクロスだけだと言われています。

グリッドに着く順番は、朝の公式練習のタイムで決まります。決勝のスタートグリッドは基本イン側が有利ですが、あまりインに集中するとラインが塞がれて、アウトのバンクから一気に抜け出す場合もあります。1コーナーをトップで立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。当然スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈かってくらい緊張しているハズ。そんな時は観客の応援が何より力になります。スタート前の選手紹介やサイティングラップの時に、落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。ヒート3で黒ゼッケンのライダーが上位にいたら、相当頑張ってると思ってくださいね。

今回観戦されるお客さんの中には初めて観戦する方、今シーズン初観戦という方も少なからずいらっしゃるはず。全国から集まったトップライダーたちのスピードとジャンプの

です。注目するライダーは、アクシデントに遭わずに1周目をクリア出来るでしょうか。

次のポイントはマシンの色。赤はホンダ、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。気になるライダーが見つかったらプログラムをチェ〜ック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人のライダーに的を絞って観戦すると、レースの展開が良く分かると思います。

スタートして一桁ゼッケンのライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

声を出しての応援 OK 声援がレースを盛り上げます

今シーズンから入場の際の検温や問診、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保のお願いなど、コロナ感染対策は全てなくなりました。

もちろん表彰式は両日お客さんに解放されます。ぜひ応援したライダーにおめでとうの掛け声を送ってあげてください。シャンパンファイトの飛沫も浴びることが出来ちゃいますよ。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、IA2クラスのヒート1、IA1クラスのヒート1スタート前には選手紹介が行われます。サイティングラップはライダーにとって1番集中する時間ですが、コースサイドからの声援はしっかりと耳に届きます。

とにかくレースは朝から夕方まで延々と続きます。しかもその合間には、今大会のスペシャルゲストでアメリカで大活躍中の下田丈選手のサイン会やトークショーも予定されています。

練習走行のタイムや走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず〜っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はビッグチームのピットやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。ポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、チームパドックにもポスターが用意されています。

直接パドックにライダーを訪ねたり差し入れに行ったりするのもOKです。ほとんどのライダーがミニゼッケンステッカーを持っているので、特に子供さんは何人分ゲットできるか尋ねて回ったら楽しそう。

スタート後方や最終コーナー周辺の各社出店や展示ブースも必見です。スタートゲートやサインエリア、雨だったら特に洗車場でもメカニックさんの仕事ぶりが見学出来ます。コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探してください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

今シーズンは LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」ですが、今年もLINE公式アカウントを使って配信しています。シーズン中、更なるバージョンアップを予定しているんですが、料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひお気軽にご登録ください。

編集後記

ある意味今シーズンのトピックでもある全日本選手権の1DAY開催。土日開催に慣れ親しんだ者には正直なところちょっと寂しい気もしますが、土曜日にローカルレースが組み込まれたり、今回のような特別フォーマットの導入で、お客さんに楽しんでもらえて、ライダーもハッピーになれるなら個人的に大歓迎。

一方この週末フランスのエルネでは、モトクロス界最大のイベントであるモトクロス・オブ・ネイションズが開催されています。世界のモトクロスファンと全ての関係者が注目する伝統と格式の一戦。来年はどこでやるんだろ。また行けるといいなぁ。丈くん代表で日本チームを引っ張ってくれるよね!?

MXING & MC Square 木田 淑

RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

全日本モトクロス新聞
MXING MOTOCROSSING
制作・発行／MC Square 木田 淑
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409
Tel. & Fax. 03-3522-2278
E-mail: kida@mxing.com
HP:https://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:https://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW - HSR KYUSYU

開幕からトップの座を譲ることなく勝ち続け、早くもタイトルに王手をかけた#27ジェイ・ウィルソン。ライバルたちは無敗でのタイトル決定を阻止できるか!? *Photo/K.Kida*

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ2023 第7戦HSR九州大会は、10月8日に熊本県菊池郡大津町のHSR九州オフロードコースで開催される。IAクラスのみの1日開催。20分+1周の2ヒートに加えIA1とIA2の上位15台が混走で戦うIA Opneの新設など新たなレースフォーマットで行われる今大会。国内最高峰クラスのIA1では、ランキングトップのジェイ・ウィルソンが無敗での連覇に挑む。果たしてジェイの快進撃に待ったをかけるライダーは現れるのか!?

白熱のバトルで盛り上がろう!
1. トップライダー&地元選手をチェック!
2. お気に入りのライダーを一人見つける!!
3. モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4. 頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

ジェイのV2決定の可能性大 富田&日本勢は阻止できるか!?

昨シーズンのIA2クラスに続き、国内最高峰クラスIA1でも開幕から無敗の快進撃を続けてきた**ジェイ・ウィルソン**（#27／ヤマハ）。計算では今大会連勝記録を17に伸ばせば、その段階でジェイの連覇が決定する。タイトル決定マジックの対象となるのは、ランキング2番手に付けるディフェンディングチャンピオン**富田俊樹**（#1／ヤマハ）。富田にとっては、ジェイに先行する以外タイトル決定を阻止する術はない。

もちろん富田以外のライダーたちも、なんとかジェイの連勝をストップさせようと必死だ。ランキングでジェイ、富田の後を追う**内田篤基**（#8／カワサキ）、**大倉由揮**（#6／ホンダ）、**大城魁之輔**（#4／ホンダ）ら若手も打倒ジェイのチャンスを伺う。

更に開幕戦での怪我からようやく再起を果たすことになった**渡辺祐介**（#4／ヤマハ）。第2戦で負傷したものの復帰を果たした第5戦北海道、第6戦近畿と持ち前のスピードでジェイに真っ向勝負を仕掛けた地元の**能塚智寛**（#2／カワサキ）も勝利を狙っている。

大塚豪太（#7／ホンダ）や**安原 志**（#13／カワサキ）、ベテランの**小島庸平**（#10／ホンダ）、怪我による欠場からから戻ってきた**小方 誠**（#5／ホンダ）も上位に進出しランキングのアップを狙っている。

20分+1周のレースを2ヒート終えた後、獲得したポイントで上位15名がIA2との混走レースIA Openに進出できる今大会の特別ルール。3ヒート全てに勝利すれば、獲得ポイントは75。このチャンスを誰がモノにするか、あるいはジェイが奪い取るのか、国内トップライダー飲みのレースだからこそ実現できたダイナミックなコースでのバトルに注目して欲しい。

横澤がビクトルに急接近 流れが大きく変わった IA2

昨シーズン日本の若手を完全に圧倒して無敗のままチャンピオンとなった**ジェイ・ウィルソン**がIA1クラスにステップアップしたことで王者不在となったIA2クラス。開幕戦は予想通りの混戦となり、**西條悠人**（#8／カワサキ）、**中島漱也**（#4／ヤマハ）、新たにチャレンジしてきたスペインの若手**ビクトル・アロンソ**（#58／ヤマハ）が初優勝を分け合った。

しかし第2戦関東、続くSUGOでは実力で一歩勝るビクトルが持ち前のスピードを発揮して2連続パーフェクト優勝を達成。ビクトルがそのまま日本勢を突き放すかと思われたが、第4戦中国大会では**池田 凌**（#18／カワサキ）、続く第5戦北海道大会では**鴨田 翔**（#翔9／カワサキ）が初優勝をマーク。前回近畿大会では**横澤拓夢**（#5／ホンダ）が2戦連続優勝をマークしてビクトルを窮地に追い込んだ。

今大会を含め残り3戦8ヒート。ランキングが入れ替わる可能性は十分にある。ビクトルが調子を取り戻してライバルを突き放すのか、それとも横澤を筆頭に日本勢が徐々に詰め寄って行くのか。**浅井亮太**（#2／ヤマハ）や**柳瀬大河**（#3／ホンダ）や**田中淳也**（#17／ヤマハ）らもチャンスを伺っている。速さと引き換えに、時折荒削りな若さを露呈させるビクトルと、世界のスピードを吸収しようとチャレンジする日本のライダーたち。火花を散らす激戦に期待したい。

450vs.250の直接対決 IA Openを制するのは!?

今大会の特別ルールで最大の見所となるIA1とIA2の頂上対決IA Open。これまでの3ヒート制とは異なり、かつて試行されたシュートアウトとは異なり、ポイントを獲得できるのは全体の上位15名のみ。排気量の小さいIA2にとっては不利な展開が予想されるが、そこにチャンスが生まれる可能性は十分にある。予選通過や1ポイント獲得を目指す混戦の中のバトルや、個々のライダーが織りなすドラマにもぜひ注目して欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2023スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月8〜9日	熊本県／HSR九州
第2戦	関東大会	5月13〜14日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	6月3〜4日	宮城県／スポーツランドSUGO
第4戦	中国大会	6月24〜25日	広島県／世羅グリーンパーク弘楽園
第5戦	北海道大会	7月30日	北海道／新千歳モーターランド
第6戦	近畿大会	9月9〜10日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	HSR九州大会	10月8日	熊本県／HSR九州
第8戦	関東大会	10月28〜29日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第9戦	MFJ-GP	11月11〜12日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D® 全日本モトクロス選手権 第7戦 HSR九州大会 開催おめでとうございます。
HONDA YAMAHA Revs Your Heart SUZUKI

左のQRコードは、今大会のライブタイミングリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。